

しんどう義孝 東京フォーラム — TOKYO FORUM — 2012.5.30

誰も見た事のない 日本の領土



会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京
地下1階 プロミネンス
〒107-0052 港区赤坂1-12-33 TEL:03-3505-1111

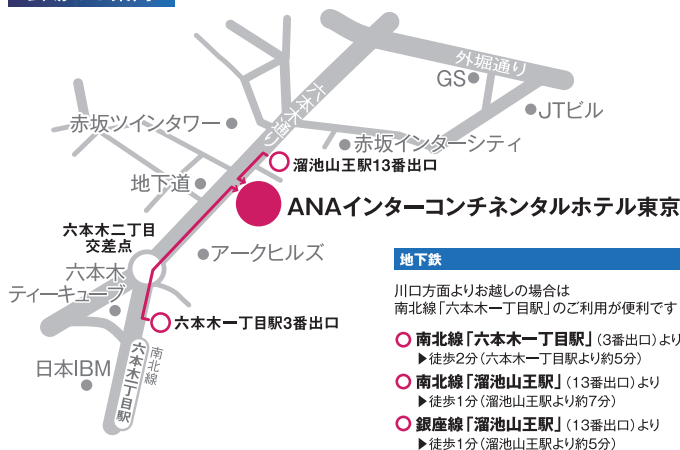
日時 平成24年5月30日(水)
■ 講演会／午後5時～5時50分
(開場／午後4時30分)
■ 懇親会／午後6時～
※懇親会からでもご参加いただけます。

会費 ■ 2万円 この催しは、政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティーです。

主催 自民党埼玉県第2選挙区支部

会費振込先 ■ 新藤義孝トーキョーフォーラム
埼玉りそな銀行 西川口支店 普4072085

会場のご案内



地下鉄

川口方面よりお越しの場合は
南北線「六本木一丁目駅」のご利用が便利です

- 南北線「六本木一丁目駅」(3番出口)より
▶ 徒歩2分(六本木一丁目駅より約5分)
- 南北線「溜池山王駅」(13番出口)より
▶ 徒歩1分(溜池山王駅より約7分)
- 銀座線「溜池山王駅」(13番出口)より
▶ 徒歩1分(溜池山王駅より約5分)

我が国の領土と国家主権問題が揺れています。ロシア、中国、韓国……。周辺諸国の挑発や侵害行為に対し、日本は毅然と対峙しなければなりません。

国家の基本問題をおろそかにする国は、国際社会から信用されなくなります。領土問題への対応には「国家の覚悟」が問われるのです。その信念のもと活動してまいります。

衆議院・決算行政監視委員長
自民党・領土特命委員長代理 埼玉県連会長

新藤 義孝

ごあいさつ

新藤義孝さんは、日本の領土問題の専門家であり、国会議員随一の行動派です。日本の領土が大きく脅かされるようになってしまった現政権下で、新藤さんの発言と動きが隣接諸国の暴挙に、一定の抑止力を働かせてくれています。

今回の新藤さんと山本さんの特別対談は、政権が一番に取り組まなければならない重要な課題そのもののものです。

平成24年4月吉日

発起人代表 平成研究会会長 **額賀福志郎**

しんどう義孝 東京フォーラム発起人

発起人代表 平成研究会会長	額賀福志郎	川口市長	岡村幸四郎
元内閣総理大臣	麻生 太郎	自由民主党川口支部長	奥ノ木信夫
元内閣総理大臣	安倍 晋三	埼玉県議会議員	田中 千裕
自由民主党副総裁	大島 理森	自由民主党川口支部幹事長	立石 泰広
自由民主党幹事長	石原 伸晃	自由民主党鳩ヶ谷支部長	栗原 忠雄
自由民主党総務会長	塩谷 立	鳩ヶ谷支部幹事長	松村 輝明
自由民主党政調会長	茂木 敏充	新藤義孝連合後援会長	渡辺 嗣彦

しんどう義孝 東京フォーラム

日時 平成24年5月30日(水)
講演会／午後5時～5時50分
(開場／午後4時30分)
懇親会／午後6時～

場所 ANAインターコンチネンタルホテル東京
地下1階プロミネンス

●当日はこの入場券を必ずご持参下さい。

ご入場券

お名前

ご住所

電話

貴社名(団体名)

※名刺貼付欄

←ご記入いただくか、名刺をお貼りください。

日本の国境と領土問題

— レンズを通して見た我が国周縁の最前線 —

今回の東京フォーラムは、フォトジャーナリストの山本皓一さんと対談させていただきます。山本さんは長年、我が国の国境を撮り続けている日本の第一人者の方で、尖閣諸島・北方領土・竹島等へ度々上陸し「日本人が行けない日本領土」という著書も出版されています。

本年1月、私が尖閣諸島洋上視察を行った際にご一緒し、3メートルを越える荒波にもまれながら尖閣の写真を撮影していただきました。



国会議員として戦後2人目の尖閣洋上視察に山本さんのような方が一緒に来られ、その記録を残していただいたことは、非常に意義深いものだったと考えております。

今回は山本さんから資料映像をご紹介いただきながら、我が国の領土と国家主権問題について考えてみたいと思います。政権交代以降、わずか2年半の間に周辺諸国は日本に対する攻勢を強め、極めて厳しい状況となってしまいました。

現場に何度も足を運ばれ、写真という手段で生の様子を伝え続ける山本さんのお話を伺うことは、国際社会における今後の我が国の在り方を考える上でとても貴重な機会になると思います。

あなた様のご来場をお待ちしております。



不法占拠されている竹島はいまや観光地と化している



択捉島の子供たち



尖閣諸島を守る海保艦

国境の島に封印された 古き日本人たちの「気概」

「ここは日本の島だ!」と声高に叫ぶよりも、絶海の孤島に残る、古き日本人たちの経済的な営みとダイナミックな冒険心を伝えたほうが、いまを生きる人々に対してはるかに強い説得力を持つ。

山本皓一 Profile

1943年香川県高松市生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。小学館の写真記者勤務を経てフリーランスのフォトジャーナリスト。海外のルポ取材が多く、アマゾン・シベリア・パタゴニアなどの「秘境シリーズ」、ソ連崩壊、湾岸・イラク戦争・南北朝鮮半島など国際事件をカバーし、国内外の新聞、雑誌、テレビなどのメディアで発表を続けている。近年はチベット・中国・ミャンマー・ベトナム・韓国・北朝鮮などアジア諸国を取材。「日本の国境」シリーズでは20数年にわたって、北方領土、尖閣諸島、竹島、沖ノ島、南鳥島など全島を上陸取材。日本戦略研究フォーラム、日本政策研究センターなどの機関誌に寄稿。テレビ討論やドキュメンタリーのレポーターなどにも出演。主な著書に「田中角栄全記録(集英社)」 「写真追跡・知られざる板門店(講談社)」 「地球見聞録(飛鳥新社)」 「激動の世界を撮る!(Beebooks)」 「来た見た撮った!北朝鮮(集英社インターナショナル)」 「軍事同盟・日米安保条約(クレスト社)」 「極東危機の最前線(廣済堂出版)」 など多数。近著に「日本人が行けない日本領土(小学館)」 「国境の島が危ない(飛鳥新社)」 「誰も見た事のない日本の領土DVD(宝島社)」 「マイナス50℃の世界(米原万里と共著・角川書店) 2003年度「講談社出版文化賞写真賞」を受賞。日本写真家協会会員 日本ペンクラブ会員 「NHK文化センター公募写真大賞」審査員

